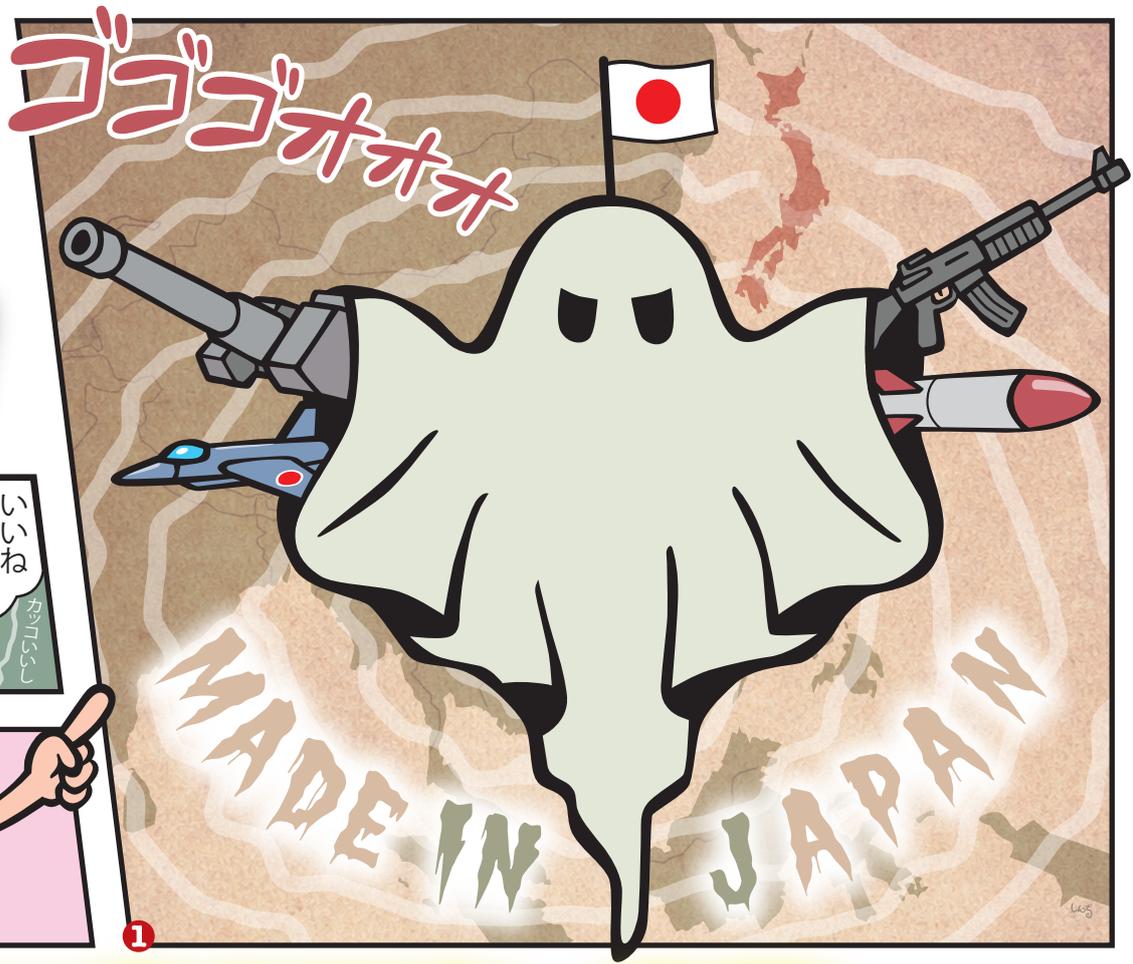


憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム

市民とともに考える
憲法講座 Vol.

17



日本は「死の商人国家」に墮落するのか

～軍民の境界が溶解する中で～

杉原浩司氏講演会



2026
4月11日 土曜日

13:30 開場
14:00 講演
16:00 終了予定

福岡県弁護士会館
2F大ホール (100名)

福岡市中央区六本松4-2-5

地下鉄: 地下鉄七隈線六本松駅より徒歩約3分

西鉄バス: 「六本松」バス停より徒歩約3分

・弁護士会館・裁判所の駐車場は利用できません。お車でお越しの方は近隣の駐車場をご利用下さい。

参加
無料

オンライン参加

左記の二次元バーコードからお申し込みください

<https://x.gd/bRiwl>

ウェビナーID: 865 5102 0013

パスコード: 087040

会場参加

会場参加は申込不要



Sugihara Kouji
杉原 浩司氏

武器取引反対ネットワーク (NAJAT) 代表。平和構想研究会、STOP大軍拡アクション、軍学共同反対連絡会などに参加。この間、イスラエル製攻撃型ドローンの輸入反対の活動に尽力してきた。『地平』2026年1月号に「武器輸出規制の撤廃」を寄稿。共著に「戦争ではなく平和の準備を」(地平社)、『亡国の武器輸出』(合同出版)、『ゾンビ家制度』『武器輸出大国ニッポンでいいのか』(あけび書房)。

戦後ずっと、平和を大切にしてきた日本。かつては武器を送らないという約束がありました。2014年にそのルールが変わり、今では日本製の武器が海外へ渡る道が開かれています。昨年2025年には、ミサイルの輸出も現実のものとなりました。さらに最近では、輸出の制限を完全になくそうという議論や、ドローン、AIの兵器利用など、私たちの知らないところで大きな変化が起きています。

私たちが本当に目指したい社会のカタチについて、やさしく、深く考えていく時間です。「平和を願う日本」であり続けるために、いま何が起きているのかを一緒に学んでみませんか?